4. 図面の作成

Vectorworks での図面作成は基本的にビューポートを使い、シートレイヤで図面として表示させます。ビュ ーポートというのは、わかりやすく言えばデザインレイヤでモデリングしたものをシートレイヤへ運ぶ機能 で、その運んだモデルから見せたい部分だけを表示させ、それを図面として仕上げます。

例えば、1F 平面図。

デザインレイヤでは基礎から屋根までモデリングしていますが、それを 1F 平面図として表現するには 1 F 以 外の、屋根や 2F 等の各オブジェクトは必要ありません。その際、ビューポートを使いシートレイヤで 1F 平 面図に必要な情報だけを表示させるのです。これが、いわゆる図面化です。

4.1. 配置図の作成

レイヤ「GL-GL」、クラス「02 モデリング-14 敷地外構-敷地境界線|とします。 敷地境界線だけが表示されている状態になり ます。



✓ プレイナー(アクティブレイヤプレーン)図形を表示(A)

✓ スクリーン(スクリーンプレーン)図形を含む(O)

ヘルプを表示するには、F1キーまたは「?」アイコンをクリックしてください。

クリップキューブを表示

ビュー>ビューポートを作成を選択します。

	ビュー ^{IIIII} モデル 建築 BIM木造	BIM			ビューポートた作成
	ズーム	>	一般設定・		モューホードを1F級 表:
	他のクラスを	>	✓ ビューポート名に「	図番/シートレイヤ番号」を転	
			ビューポート名:(M)	2/Sht-1	
			作成するレイヤ:	Sht-1 [シートレイヤ… 📀	
	ビューポートを作成		図面ラベルを作成	C	
	詳細ビューボートを作成		• スタイルを使用:	図面ラベル - 図番 ◇	
	断面ビューポートを作成		○ デフォルト設定を	使用	
	水平断面ビューポートを作成		図番:(B)	2] 1
	室内展開図ビューポートを作成		図面タイトル:(N)	[図面タイトル]	ł
			参照元:現在のファイル	,	ž
ビュー	- ポートを作成 ダイアログが表示される	ので、	参照元	この選択(T)	1
/ クロー	+ 1,100(Άから亦再づきます)にしても	いませ	ν	イヤ(L)	
和日ノくり。	4 1.100(仮かり友史でさより)にして4	0 C T	2	ラス(E)	
す。			統尺·(S)	1:100	
作成す	トスレイヤ をクリック」ます				
1 - 196 7			+ 7 A / 1:	100.000	1
			辛生を	由 へ	

一覧から「新規シートレイヤ」を選択し	します。		
	ビューポー	シートレ	イヤの作成
- 般設定: ✓ ビューボート名に ビューボート名:(M) Sht-1 [シートレイヤの たはます」 くせ. シートレイヤ番号を「Sht-1」 としての	DタイトルI のタイトルI OKをクリッ ・	lに作成(N) ートレイヤ番号:(S) ートレイヤタイトル:(T) -トレイヤを取り込む(I) _BIM 日本仕様クラス.vwx	Sht-1 [シートレイヤのタイトル] ご 選択(0)
アレムア。 ビューポートを作成ダイアログも OK る て閉じます。 すると、シートレイヤへ画面が移動しま ここでも、敷地境界線だけが表示されて	をクリックし ます。 ている状態に	イヤ名 レイヤ	の説明
なっていると思います。ビューポートだ 状態で、 オブジェクト情報 パレットの : 記号ラベル-ビューポート」とします。	が選択された クラスを「05 新しいシ	ζ時に編集ダイアログボック∶ −トレイヤの番号を入力します。	スを表示(E) キャンセル OK

次に建築物を表示させますが、単純に建物の外郭を表示 させるだけなので、外壁よりも建物の中心線が認識しや すいスペースを表示させ、その外壁部を多角形ツールでトレースし建物の外郭を完成させます。

ビューポート図形を選択した状態で、オブジェクト情報パレットのレイヤをクリックします。 ビューポートレイヤを表示/非表示ダイアログの「1F-FL」「GL-GL」を表示にします。

× オブジェク	ト情報	履 - 形状	8				
751	7-	9 009-	•		ビューポートレイヤ	"を表示/非表示	
ビューポート							
	ΔX:	271.68		ビューポート	: 1/Sht-1		
	ΔΥ:	156.355		Q			
000	X:	-164.241			すべてのレイヤン		フィルタの管理
	Y:	52.037		24702.			フィルクの官理
				表示設定 💿	レイヤ		#
角度:		0°		× 10	屋根-桁梁天端		1
クロップ:		なし		8	2F-ロフトFL		2
枠を表示				🗱 💽	2F-FL		3
		更新		× 💿	2F-床梁天端		4
図面タイトル:		[図面タイトル]			1F-リビング天井 1F その他王サ		5
図番:		1			1F		7
逆参照シートレー	イヤ番号	7.		8	階段		8
		道参照を選択		0	1F-FL		9
		足多照を選び		S 🖸	1F-土台天端		10
		レイヤ		<u> </u>	基礎–スラブ天端		11
		クラス		0	GL-GL		12
縮尺:		1:100	~		GL-道路天端		13
カスタム 1:		100.000		編隹			

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

同じようにクラスの表示設定をします。オブジェクト情報パレットのクラスをクリックし、ビューポートク ラスを表示/非表示ダイアログで「02 モデリング-01 スペース」を表示にします。

これでスペースが表示されるようになります。

× オブジェク	ト情報	8-形状 ?
形状	デー	タ │ レンダー │
ビューポート		
	ΔX:	271.68
	ΔΥ:	156.355
000	X:	-164.241
	Y:	52.037
角度:		0°
クロップ: 中を表示		なし
		更新
図面タイトル:		[図面タイトル]
図番:		1
逆参照シートレー	イヤ番号	:
		逆参照を選択
		レイヤ
		クラス
縮尺:		1:100 ~
カスタム 1:		100.000
詳細し☆Ⅱ・		•

	ビューポートクラスを表	長示/非表示	t
ビューポート	: 1/Sht-1		
Q			
フィルタ:	<すべてのクラス>	٢	フィルタの管理
表示設定 ※ ※ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ※ ⑥ ◎ ※ ⑥ ◎ ※ ◎ ◎ ◎ ※ ◎ ◎ ◎ ※ ◎ ◎ ◎ ※ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	クラス OUIIne-IeVeI-ロフトFL OOline-IeVeI-土台天端 OOline-IeVeI-床梁天端 OOline-IeVeI-桁梁天端 OOline-No, OOline-グリッド線 O2モデリング-O1space		
	02モデリング-01Space-1No, 02モデリング-01Space-2name 02モデリング-01Space-3面積 02モデリング-01Space-4ch 02モデリング-02基礎-FG1 02モデリング-02基礎-FG2 02モデリング-02基礎-FG4		

クラスをアクティブに

レイヤをアクティブに

強制選択 類似図形を作成 同位置図形を選択... 図形からオブジェクトを作成...

カット

コピー

回転

ロック

ロック解除

チェックアウト...

管理者権限リリース...

ペースト

※敷地境界線クラスはビューポートされた時点で表示設定になっています。

ビューポート図形を右クリックで表示されるコンテキストメニュー から、**注釈の編集**を選択し、編集画面に入ります。

※シートレイヤ上の縮尺は 1:1 で、変更できません。 ただし、ビューポート図形は、最初に設定した 1:100 として表示されています。(ビューポート内も 1:100) この縮尺はオブジェクト情報パレットの縮尺から変更可能です。

編集作業に入ります。

クラスを「06 文字・作図-直書き作図」と変更します。

基本ツールセットパレットの**多角形**ツールで、スペースの外壁部を トレースします。



ЖX

жс жv

>

>



入力した多角形を選択した状態で、属性パレットの面属性をクリックしハッチングをかけます。必ずしもハ ッチングでなくてもカラー表示でもいいです。好みで選択してください。

今回は Vectorworks ライブラリの Defaults > Attributes - Hatches 内の「レンガ HF」を選択しました。 レンガとなっていますが、シーンに関係なく使用できます。



ビューポート図形が選択された状態でオブジェクト情報パレットのレイヤ表示非表示の設定をします。レイ ヤをクリックし、ビューポートレイヤの表示/非表示で「1F-FL」を非表示にします。

ここから**寸法**を入力します。(文字と寸法の記入は必ず注釈の編集で行ってください) 先にも書きましたが、シートレイヤ上の縮尺は 1:1 なので精確な寸法は出ません。注釈内だと設定した縮尺 が適応されるので、縮尺に応じた寸法が入力できます。

寸法/注釈ツールセットパレットの縦横寸法ツールを選択します。



敷地境界線から申請建物までの距離等、必要な個所に寸法線を入れます。 1か所だけ入力の標準寸法モード(赤枠内左)、連続して入力する**直列寸法**モード(赤枠内右)を必要に応じ て、切り替えて使用します。操作は クリック-クリック です。



次は文字を入力します。

クラスを「06文字・作図-直書き文字」とします。

基本パレットの文字ツールを選択し、記入します。(キーボードを使い文字入力します)



この他に、文字を図面に落とし込む方法として 引出線付き注釈ツール というのがあります。





このツールの特徴はその名の通り、引出線が付いた注釈文字を図面に簡単に置けることです。その操作は、 注釈文字を配置しその都度内容に応じて書き込みすることもできますが、更には図面種類に応じてデータベ ースが利用できるのが大きな特徴です。

例えば、敷地外構関係の注釈文字をデータベース登録しておけば、配置図や外構図での文字はデータベース から選択するだけで書き込む必要が無いという訳です。毎回、同じような文言を何度もキーボード入力する 手間が大幅に省けることになります。

引出線付き注釈ツールを選択し、図面上の任意の場所でクリックしとりあえず空のまま置きます。 **引出線付き注釈**ダイアログが表示されるので、左下の**ノートマネージャ**をクリックします。

	引出線付き注釈	
データベース:	<&L>	0
データベース名:		
データベースのフィルタ	すべての注釈	Ó
ヘルプを表示するには、F1キーまたは	「?」アイコンをクリックしてください。	
ノートマネージャ	キャンセル	ж

ノートマネージャダイアログのアクティブなデータベースを新規に作成するので新規をクリックします。

		ノートマネージャ	
データベース			
アクティブなデータベース:	[VW]/Libra	ries/Defaults/Notes/Callouts.txt	0
	新規	選択 別名で保存	

		新規データベース	ファイルを選択				
	名前:	Database)		
	タグ:						
< > ≡ • •		Notes	٥	•		Q 検索	
1月				^	変更日		サイズ

ノートマネージャの項目の追加ボタンをクリックし敷地関連と入力しOKをクリックします。

0	● ○ ● ノートマネージャ ?	
新規項目	項目の名前を入力:	追加
	敷地関連	削除
	キャンセル OK	編集

項目の一覧で、いま入力した「敷地関連」を選択した状態で、

Q	
新規項目	追加
敷地関連	
	削除

その下の項、**文字**の追加をクリックします。

説明:			
隣地境界線			追加
			WALTER
文字			
	注釈を追加	8	
項目:			
敷地関連		0	
説明:			追加
聯州请現線			削除
			編集
注釈の文字・			

注釈を追加ダイアログの注釈の文字に「隣地境界線」と入力し OK をクリックします。

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

ノートマネージャのダイアログへ戻るので **OK** をクリックすると、**引出線付き注釈**ダイアログが表示されるので、**データベース**から先ほど作成保存したデータベースを選択します。



次に、項目から**敷地関連**を選択し、その下の枠内から**隣地境界線**を選択し**OK**をクリックします。 隣地境界線と書かれた引出線付き注釈文字が配置されています。

最初に任意の場所でクリックしていたので、隣地境界線部分までドラックします。



文章にすると複雑に感じるかもしれませんが、操作してみると感覚的に扱えます。

このような流れで敷地関連の文言をデータベース登録しておくと、同じ文言を毎回書き込まなくても済むと いう訳です。一例として、下図のように延焼の恐れのある部分等も登録しておくといいかもしれません。



配置した文字のレイアウトはオブジェクト情報パレットから編集できます。

今回は敷地関連でしたが、立面図、矩形図、その他図面関連の項目を作成して、データベース登録しておく と作業効率はかなり上がると思います。

方位記号

方位記号は**リソースマネージャ**パレットの「シンボル/プラグインオブジェクト」内に登録されています。 **リソースマネージャ**パレットの**検索**ボックスに「方位」と入力し検索します。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

方位記号が表示されるので、好みの方位記号をお使いください。もちろんオリジナル方位記号を作成することも可能です。※方位記号の入力はシートレイヤ上(1:1)で行ってください。

4.2. 平面図の作成

Vectorworks では平面図の作成方法が大きく分けて2通りあります。

1. ビューポートを作成

2. 水平断面ビューポートを作成

ここではこの2つを紹介します。

操作方法はほぼ同じですが、水平断面ビューポートの方がビューポート図形の表現方法が豊富な分、設定作 業が必要になります。



レイヤ・クラスの表示設定を、1階平面図に必要な情報だけにします。

ここからビューポートを作成します。

ビュー>ビューポートを作成を選択します。



作成するレイヤを「Sht-2 [シートレイヤ]」、縮尺を「1:100」と設定し、OK をクリックします。

般設定:		表示設定:		
✔ ビューポート名に	「図番/シートレイヤ番号」を転記	ビュー:(I)	2D/平面	0
ビューポート名:(N) 2/Sht-2	目乙角	宴を指定 (W/)	
作成するレイヤ:	Sht-2 [シートレイヤ… 📀			
🗌 図面ラベルを作成		DD999299(R)	947-70-A	
● スタイルを使用	: 図面ラベル - 図番 ◆	レンダリ	ングの設定(G)	
○ デフォルト設定	を使用	2Dの面を表示		
図番:(B)	2	背景テクスチャ:(K)	なし	\$
図面タイトル:(N)	[図面タイトル]	投影の方法: (J)	2D平面	٥
参照元: 現在のファイ	Л	透視投影のタイプ:(P)	透視投影 (標準)	\$
参照	R元の選択(T)	投影距離:(D)	9.760	
	レイヤ(L)			
	クラス(E)			
	1:100			

ほぼデザインレイヤで表現されている状態で、指定したシートレイヤヘビューポートが作成されます。



次に水平断面ビューポートです。ビュー>**水平断面ビューポートを作成**を選択します。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

Vectorworks Architect 2021

般設定:			表示設定:		
🗹 ビューポート名に「	図番/シートレイヤ番号	」を転記	切断面の高さ: 1219.2		
ビューポート名:(M)	3/Sht-2		高さ基準: 1F, FL		
作成するレイヤ:	Sht-2 [シートレイヤ・		切断面と範囲		
✔ 図面ラベルを作成			✔ 切断面より下を表示		
◯ スタイルを使用:	図面ラベル - 図番	\bigcirc	レンダリング (パックグラウンド) · VW-陰線消去レンダ… 📀		
○ デフォルト設定を	使用				
図番:(B)	3		レンダリング設定(バックグラウンド)		
図面タイトル:(N)	[図面タイトル]		2Dの面を表示 非見二クスチャッパ()	ħ 1. ^	
L	イヤ(L)		月京ナツスナヤ:(K)		
2	ラス(E)		レジダリジク(輪郭):	~~ V	
縮尺·(S)	1:100		レンダリング	設定(輪郭)	
+ 2 2 / 1	400.000		隠れたオブジ	ェクトの表示	
ガスラム に	н н		切断面より上を表示		
いたの方法(1)					
技形の方法.(J) 添担扱影のタイプ·(D)	玉直汉影 凑泪投影 (標准)	~	オブジェク	7トの表示	
近祝技影のタイノ.(P)	22751又於 (市平平)	×	隠れたオブジ	ェクトの表示	
投影距離:(D)	9.760		断面の詳	细設定 (T)	
✓ プレイナー (アクテ 平面化したものを表	ィブレイヤプレーン) 歴	図形を表示(A)	MILLIO OTA	minore(1)	
✓ 2Dコンポーネントを	を表示				
レプを表示するには、F1キーまたは	「?」アイコンをクリックしてくだ	ี้อ่าง。			

同じようにビューポートされた図形が下図です。

プロパティの設定がデフォルトのままだとこのような表現になります。(階段が黒く塗りつぶされています)



※この状態では図面として使用できないので、編集作業が必要になります。

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会 132

水平断面ビューポート図形を選択した状態で、**オブジェクト情報**パレットの**プロパティ**をクリックすると、 右側画像の水平断面の詳細設定が表示されます。このデフォルト設定を変えることで表現方法が、ビューポ ートを作成より豊かにします。

·		属性表示
加ビューホート		切断面
✓ 切断面より下を表示		○ 切断面を統合(M)
レンダリング(バックグラ	ラウン… VW-陰線消去レンダリング	▲構造体とその他にグループ分け(N) ✓ 切断面を分離(P)
レンダリン	グ設定(バックグラウンド)	元図形の属性を使用(B)
2Dの面を表示		□ 構造用図形を同じ面に結合(E)
背景テクスチャ:	なし	▼ 断面輪郭線を追加
レンダリング(輪郭):	なし	■ 属性クラス:(T) 断面スタイル
- - νν:	ダリング設定(輪郭)	
隠れ)	たオブジェクトの表示	切断面より下のオブジェクト
切断面より上の範囲		面
切断面より上を表示		○ 元図形の面:(G)
7	ブジェクトの表示	クラスの面:(U) 一般 ↓
隠れ)	たオブジェクトの表示	線種
		 元図形の線種:(R)
投影の方法:	垂直投影	▼ クラスの線種:(E) 一般 ◇
透視投影のタイプ:	カスタム	•
投影距離:	0.098	ヘルプを表示するには、F1キーまたは「?」アイコンをクリックしてください。
	背景放射光	
	プロパティ	

Jun Jun Jun

1枚目の画像がビューポートを作成で作成した平面図。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会



2枚目の画像がプロパティを一部編集した水平断面ビューポートです。

どちらを平面図として使用するのかは設計者の好みですが、最初はあまり詳細設定の必要ない「ビューポートを作成」を使いつつ、操作に慣れてもっと図面表現が欲しいと感じて来たら、「水平断面ビューポート」へ移行する方法がいいかもしれません。

文字、寸法の記入方法は配置図と同じです。注釈の編集へ入って行ってください。

4.3. 立面図の作成

立面図の作成は**投影図ビューポートを作成**を使います。

デザインレイヤでのクラスやレイヤの表示設定を立面図として成立するように確認します。 **基本**ツールセットパレットの**フライオーバー**ツールを選択し、クルクル回して外観を確認します。



立面図として表示するため必要なデザインレイヤの表示を 決めます。(右図のような表示設定になります) 次にクラスですが、デザインレイヤに付随し、且つ立面図 に必要なクラスを表示させます。

例えば1F-FL、2F-FL に関係するクラスは、壁(構成要素のガルバリウム鋼板やシラスも忘れずに表示させる)、建 具等。

屋根-桁梁天端 に関係するクラスは屋根1,2階とも表示 させる、といった作業になります。

× ナビゲー	ション - クラス	?
\$ 8]\x @ &	⊳
他のクラスを:	表示+スナップ+編集	0
フィルタ:	<すべてのクラス>	٢
Q 検索		
表示設定	クラス名	
83	栗石	
83	▷ 鉄筋	
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	03床	
۲	▽ 04壁	
۲	ext	
۲	int	
8	05天井	
۲	▽ 06屋根	
۲	1F	
۲	2F	
۲	▽ 07建具	
۲	ext	
۲	int	
۲	08階段	
3		

× ナビゲ-	ーショ	ン - デザインレイヤ			2
*		×  @  &			C
他のレイヤを	: 表示	+スナップ+編集			0
フィルタ:	<す	べてのレイヤ>			0
Q 検索					
表示設定		デザインレイヤ名		#	ストー
()		屋根-桁梁天端		1	屋根
83		2F-ロフトFL		2	2F
۲		2F-FL		3	2F
83		2F-床梁天端		4	2F
8		1F-リビング天井		5	1F
8		1F-その他天井		6	1F
83		1F-和室天井		7	1F
۲		階段		8	
۲	S	1F-FL	1	9	1F
22		1F-土台天端		10	1F
۲		基礎-スラブ天端		11	基礎
$( \bigcirc )$		GL-GL		12	GL
83		GL-道路天端		13	GL
8		line		14	

外観を確認し設定が終われば、ビューを一旦 2D へ戻します。

# ビュー>ビュー>2D/平面を選択します。



ここから立面図を取り出します。

ビュー>投影図ビューポートを作成を選択します。 ビューボートを作成... 詳細ビューポートを作成... 断面ビューポートを作成... 水平断面ビューポートを作成... 室内展開図ビューポートを作成... 投影図ビューポートを作成... <mark>ት</mark> ዝጠ 選択しているビューポートを更新 すべてのビューポートを更新 すべてのビューポートの更新をキャンセル 画面を登録...

ダイアログでは表示させたい向きを選択します。 向きを選択したら**OK**をクリックします。すると4立面が 作成されています。

投影図ビューポートの場合は自動的に「シートレイヤ1」 へ移動します。このシートレイヤ1に立面図が作成されま す。シートレイヤ1では下図のような状態になっていま す。※シートレイヤの名前は後から編集できます。





ビューポート図形4つが選択された状態で、オブジェクト情報パレッ

トの**更新**ボタンを押します。

ビューが更新されます。

それを用紙枠ヘレイアウトすれば立面図4面の完成です。



これらに寸法や必要事項の記入といった作業がありますが、基本的には配置図と同じで、注釈の編集へ入って行います。

#### 4.4. 断面図の作成

断面図の作成は、断面ビューポートを作成を使用します。断面図の作成も立面図と同じような手順です。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会 ٦

× オブジェクト情報 - 形状

**4 ビューボート (複数)** クラス: 一般

レイヤ: シートレイヤ1

• 0 0 0 0 0 0 0

形状 データ | レンダー |

ΔX: 167.8138

X': -169.1855 Y': -37.9168

0°

なし

更新

ΔY: 67.3897 X: -169.1855 Y: -37.9168 上図 2D/平面の状態から断面図を作成します。

**ビュー>断面ビューポートを作成**をクリックします。

そのまま断面図として見せたい部分を切断(線を入れる)します。(クリック-クリック) 次にカーソルを左右に動かして向きを指定します。向きが決まれば再びクリック。



断面ビューポートの作成ダイアログが表示されます。

## Vectorworks Architect 2021

作成するレイヤを「Sht-3」、縮尺を「1:50」として OK をクリックします。

般設定:		表示設定:			
🗹 ビューポート名に「	図番/シートレイヤ番号」を転記	✓ 切断面より奥を表示			
ビューポート名:(M)	1/Sht-3	レンダリング(バックグラウン	<ul><li>・ド): VW-陰線消去レンダ… </li></ul>		
作成するレイヤ:	Sht-3 [シートレイヤ… 📀	レンダリング設定	!(バックグラウンド)		
図面ラベルを作成		2Dの面を表示			
<ul> <li>スタイルを使用:</li> <li>ニューレー 部立す</li> </ul>	style-1	背景テクスチャ:(K)	なし		
<ul> <li>デフォルト設定を</li> <li>図番・(B)</li> </ul>		レンダリング(輪郭):	なし		
図面タイトル:(N)	[図面タイトル]	レンダリン	グ設定(輪郭)		
L	イヤ(L)	隠れたオブ	隠れたオブジェクトの表示		
2	ラス(E)	切断面より手前を表示			
縮尺:(S)	1:50	オブジ:	オブジェクトの表示		
カスタム 1:	50.000	隠れたオブ	ジェクトの表示		
詳細レベル:	<b>中</b> 🕄				
投影の方法:(J)	2D平面 ᅌ	断面の	詳細設定(T)		
透視投影のタイプ:(P)	透視投影(標準) 🗘	立断面指示線設定			
投影距離:(D)	9.760	● スタイルを使用:	立断面指示線 - archi 😒		
プレイナー(アクテ	ィブレイヤプレーン)図形を表示(A	) デフォルト設定を使用			
- 平面化したものを表	示	✓ 項目を補完			
✓ 2Dコンポーネントを表示		図番:			
		図面タイトル:	[図面タイトル]		
		シートレイヤ番号:	A1		
プを本示するにけ E1セーキをけ	<ol> <li>アイコンをクリックしてください</li> </ol>				
	13 / 1 - 2 - 2 / / / / U C (/L C V 6				

シートレイヤへ断面図が作成されています。

表現方法は、平面図の水平断面ビューポートと同じで断面を塗り潰した表現にする等できます。

断面ビューポートの**オブジェクト情報**パレットにある**プロパティ**から変更できるので試してください。



これらのように、BIM での図面は描くのではなくモデルから取り出すということになります。 慣れないうちは、モデルが不完全なため図面として成り立たないこともありますが、作業に慣れてくれば 様々な図面表現ができるようになってきます。

これらの図面はモデルを通して完全リンクされています。変更があった場合はモデルを変更すれば、変更に 関連する全ての図面が修正されることになります。